

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第五号

高橋会長ご挨拶

明けましておめでとうござい
ます。旧年中は大変ご協力を頂き
ありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願
いいたします。

二十一世紀幕明けの昨年は、新
しい世紀の未来に潜む不安を象
徴するような波乱の年でした。
アフガニスタンにおけるテロ
リスト集団との戦いは、その後の
復興と和解をどう進めるかとい
うことに真の平和への道筋の成
否がかかっていると思います。

また前世紀末、自由主義経済の
グローバル化の発展に伴い、益々
拡大した世界の国々の
貧富の差にどう対処していくか
ということが、地球環境の保全・
維持とともに今世紀冒頭の世界
的な課題でしょう。

翻って国内に焦点を合わせる
と、バブル崩壊の傷あとが未だ癒
えず、一歩間違えば破滅的とい
う大変な不況に陥っています。この
ことが自信喪失につながらない
よう、国民全体の活力を高めるこ
とが何より大事でしょう。

そのなかで、皇太子殿下ご夫妻
に待望のお子様ご誕生という明
るいニュースがありました。本年

はこのような世界的な不安なら
びに日本国内の困難な課題が解
決・打開される糸口がつき、二十
一世紀の明るい展望が開かれて
いく年になることを切望してお
ります。



さてOB会は昨年末で会員数
五百名の大台を越しました。益々
の発展拡大を皆様とともに喜ぶ
次第です。会の運営としては、親
睦活動や広報活動を通じて、会
員の皆さんの心身の健康に役立ち
、何時までも若々しい気持を持
ち続けられることにお役立ちでき
ることを念じております。

この方針に沿ってつぎの三項
目を重点に取り組んでまいりま
した。

- 一、リクリエーション分科会活
動の充実
- 二、広報活動の充実
- 三、情報連絡ネットワークの構築
その結果、分科会活動について

は本部地区のみならず、関西支部
の滋賀地区、近畿分会、東海地区、
九州支部でも活発化して参りま
した。

広報活動では、「OB会だよ
り」の年一回発行の定着とともに
「ホームページ」も内容の充実と
平行して閲覧者が増加し、昨年十
二月九日現在延べ三八六〇名に
達しました。

情報連絡ネットワークも昨年
完成し既に運用されております。
こうしたことから、本年度は特
に新しい企画に取り組みることな
く、分科会活動の定着ないし一層
の充実を進めることを重点にし
たいと思っております。

付言ながら、「ホームページ」
の内容の一層の充実のために、会
員の皆さんからのニュースや記
事の活発な投稿をお願いします。
皆様の益々のご健康とご多幸
をお祈り申し上げるとともに、
OB会の一層の発展のためにご
協力をお願い申し上げ、新年のご
挨拶とします。

近畿分会定期総会

平成十三年十一月十八日
奈良県信貴山観光ホテル
参加者 宇塚正、奥田公具、押切
繁、小野博三、加藤敏雄、熊倉寛、

内藤次生、中村光男、平井穰、福
井久、町田富美夫、峰松晃、山本
功、吉川康夫、山口滋（十五名）



一、初の定期総会では中村氏の地元
を紹介頂き「信貴山」で開催した。
二、小野氏は高知県からわざわざ
空路を利用して参加され、又、熊
倉氏が初参加された。
三、町田氏、奥田氏、内藤氏、平
井氏、福井氏は、生駒山から信貴
山観光ホテルまで十数キロをハ
イキングして集合された。
四、会合は、先日逝去された河野
俊男氏のご冥福を祈って黙祷を
捧げた後、加藤分会長の挨拶で始
まった。

幹事から経過報告と会運営の
提案を行った後、懇親会に入る。
五、翌十九日も好天に恵まれ、中
村氏の案内で「談山神社」の紅葉
をめて午後、「明日香村」の石舞
台」を見学して散会した。
(山口滋記)

東海地区初の会合

平成十三年十一月十五日（木）
参加者 池田浩司、伊豆亥児、岸
川茂、合原精一、高橋恭明、田口
浩、竹内薫範、谷口厚生、中島次
郎、丸山普薫、宮内勉、柳研一、
玉木正良（十三名）

関西支部所属で東海地区に在
住する会員数が総勢二十名を数
えるまでになりました。
そこで、地区会員の初顔合わせ
の懇親会をおふくろの味「はせ
川」で開催しました。



参加メンバーは大正八年生ま
れの方から昭和十八年生まれ
の方まで年の開きはありましたが、
何の遠慮も違和感もなく、自己紹
介のスピーチでは、勤務していた
時の想い出話やエピソード等々
話は尽きなく、予定の時間を三十
分以上も超過してしまいました。
(玉木正良記)

歩こう会

関西地区 歩こう会

「西美濃の國を歩く」

平成十三年十月三十一日(水)

参加者十四名 JR垂井駅集合
幹事の古川さん、富岡さんから
コースの説明を聞き、軽いストレ
ッチ体操をしてスタートする。

南宮大社。主祭神の金山彦命は
全国の鉱山、金属業の総本宮とし
て深い崇敬を集めている。新幹線
で大垣を過ぎるころに車窓から
間近に大鳥居が見える筈。

垂井の泉。岐阜県名水五十選の
一つで、垂井町の玉泉寺境内にあ
る。和歌にもよまれ「垂井」の地名
の由来と言われている。各人名水
を試飲したが評価は様々。



美濃国分寺。天平十三年僧行基
の造営。昭和四十六年に復元され、
史跡公園となっている。

赤坂宿。中山道五十七番目の宿
場町として賑わいをみせたとい

ろで、西国三十三霊場の最終谷汲
華嚴寺へ続く巡礼街道の起点。今
でも石灯籠の道標が残っている。

赤坂港跡。赤坂港は杭瀬川を利
用して西美濃の産物や金生山の
石灰を運ぶ水運の要所として栄
えた。しかし大正八年の美濃赤坂
線の開通と、下流に水門が建設さ
れて船の航行が困難となって廃
絶し、現在は往時を偲ぶ常夜燈が
残されているだけ。

昼食・休憩を含めて約五時間・
十一キロのコースはここで無事
に終わる。
(森川栄寿記)

関東地区 歩こう会「郡山工 場見学と奥州路観光」

平成十三年十月十八日(木) 十九日(金) 参加者十八名

郡山駅からタクシーに分乗し
て工場に向かう。斉藤工場長、大
森事務課長に出迎えられ、二階の
会議室に導かれる。

高橋会長の挨拶とお礼の言葉
に続き、斉藤工場長の説明がある。

この後見学に移り、フィルム工
場に向かう。この工場は最新鋭の
技術でシュリンクフィルム「DX
Lフィルム」、ヒシペット、ヒシレ
ックス」を製造している。これら
はペットボトルのラベルに大量
に使われていて、会社の業績に大
きく貢献している。

高速で走るフィルムを前に、岡
田フィルム課長の説明を受ける。
フィルム工場を一巡した後、パ
イプ工場に向かう。

幸福パイプ課長の説明を聞いて
いる時に「サイズ切替」に当た
り、大口径から小口径に見る見る
うちに切替り、一同感心する。

工場見学後、山本郡山営業所長
にも加わってもらって、質問に答
える時間を取っていた。皆さんに見学の余韻が残って
いて次々と質問が繰り出される。
予定の十六時となり、「ホテル
華の湯」に向かう。



翌朝九時にホテルを出て観光
に向かう。第一の目的地、弁天沼
に着く。散策し奥州の秋にひたる。
十二時、高村智恵子の里に着く。
「智恵子の生家」では明治初期の
造り酒屋の土間に立ち、「智恵子
記念館」では智恵子の数々の紙絵、
油絵、などの作品に直に接する。

再びバスでしばらく走り二本
松城に着く。ここでは毎年、人形
百三十体、菊株数万本の大菊人
形展が開催され、三十万人の観
客が訪れるという。

入場してすぐに、世界で初めて
成功した「三色千輪咲」が目に入
る。菊作り四十五年の大ベテラ
ン・井原利平さんの解説に耳を傾

けながら会場を見て歩く。

この後バスで郡山駅に向かう。
事故もなく、無事に終わったこと
に感謝。(市村義雄・吉井靖記)

ゴルフ同好会

関西地区第十七回コンペ

平成十三年十月十六日(水)

彦根カントリー倶楽部 参加者
三十名

遠来の山口滋さん、玉木正良さ
ん、東野元貞さん、高橋恭明さん
に最近岐阜県に居を構えた谷口
厚生さんを含めて前回と同様大
コンペとなりました。

柴田弥蔵さんの開会挨拶のあ
と熱戦の火蓋が切られました。
ミズノカップコンペと兼ねて
実施したため、ドラコン賞、ニヤ
ピン賞のかかったホールが多く、
どこも気が抜けず集中力を維持
したままホールアウトしました。



長浜工場の社員会館まで移動
して表彰式となりました。

優勝 雨森作仁さん

準優勝 山岡信一さん

第三位 草野康雄さん

B G賞 83 笹原榮之助さん

D C賞 下司武夫さん、山田知
男さん、笹原榮之助さん

N P賞 谷口厚生さん、中山勉さ
ん、東野元貞さん、石丸正明さん
(森川栄寿記)

関東地区第十六回コンペ

平成十三年十月三十日(火)

湘南カントリークラブ 参加者
二十三名

今回は参加者が六組の大コン
ペになり、スコアもグロス八十台
二名、九十台前半六名と大幅に向
上しピンそば五十センチ以内の
熾烈なニヤピン争いを繰り広げ
るなどハイレベルの大会でした。



プレイ後、表彰式と懇親会があ
り、和気藹々のゴルフ会でした。

優勝 石橋正康さん

準優勝 西林公助さん

第三位 壁本昌隼さん

B賞88 市村義雄さん、篠島秀明さん
特別賞山田守士さん(グランドシニヤのベストスコア)
NP賞 篠島秀明さん、原田浩次さん、山田守士さん、宮武正浩さん
(坂本堅二記)

テニス同好会

テニス同好会秋季大会
平成十三年十月二十六日(金)三菱化学泊江コート 参加者十四名
下馬評では往年の名選手が組んだ高橋原田組、井東島居組、中村篠島組での優勝争いと言われましたが、年齢差は逆らえず、OB会の中では若手を自認する西林金子組が優勝しました。



試合では絶好のスマッシュボールを大きく空振りしたり、ボールを追っかけて尻餅をついたりとなイスプレーの続出でした。それにしても今年八十四歳の井東さんが、コートをも右に左にと

フットワークも軽く大活躍され、まだまだ若い者には負けんぞという意気込みでした。
ゲーム終了後恒例の懇親会となり、それぞれの現況や思い出話を語り合いました。(金子昇記)

フォトサークル二〇〇〇

「第三回撮影会」

平成十三年十一月五日(月)東京お台場 参加者六名
お台場はヤングに人気のあるスポットといわれていますが、大人にも魅力のある港町で、すばらしい被写体が数多くあります。
最初は「国際展示場前」、東京ビッグサイトの近代建築群を被写体にシャッターを切りました。
続いて「青海駅」、センタープラザのロムナードのお花畑からの大観覧車やフジテレビ本社ビルの眺望がすばらしく、みんな時間を忘れてパチパチパチ。



次は「テレコムセンタービル」、

二十一階の展望室から東京港が一望でき、絶え間なく行き来する貨物船を見ると日本経済の躍動が感じられます。そんな船舶を望遠で写し込みました。
陽が弱るころ、「お台場海浜公園」にたどり着く。台場が海に浮かび、緑豊かな松林にかもめが舞い、まさに絵になる風景です。

三時間におよぶ撮影で、たくさんになりましたが、新橋駅近くにある居酒屋に落ち着き、ビールで乾杯し、疲れを癒しました。
初めて参加の久保秀雄さんも、雰囲気気がいいといった様子で、次回から高級機を引っ下げて製作に励むとのことでした。

今回は、平成十四年四月上旬に「東京飛鳥山の桜」の撮影を行います。
(橋本志真彦記)

趣味、健康、ライフワーク

井原利平さんの菊造り

井原さんの菊造りは三菱化学黒崎工場時代に始まります。朝鮮戦争の時、米軍から砲弾の注文があり、炸薬を製造するため、作業中に火薬の説明をして生産の準備をしているなかで、九州人は気が荒いから事故を起こしやすいのでは?と心配して、精神を安定させるため俳句とか菊造りを始めることにして、先生を呼んで手解きしてもらったのが始まりとのことでした。

黒崎の後、長浜、平塚、東洋のどの時代も続けておられ、大変長い経験をお持ちです。

甲府では山梨菊の花会に所属され菊作りの指導をされています。

す。また東京の日本菊協会にも加入されていて、秋は各地の菊展を巡られることが多いようです。
(黒川亮記)



焼き鳥判決で

臭気の発生差し止め

十月二十五日朝のフジテレビ小倉智昭のニュース「とくだね!」を見ていたら、焼き鳥店の出す臭いについての裁判がとりあげられ、番組のなかでOB会員の小松繁さんに電話して、臭気に関する説明を求めています。

小松さんは現在、社団法人「臭気対策研究協会」の専務理事です。協会の事業に臭気判定士試験の実施と免状の交付があります。臭気判定士は国家資格で、改正悪臭防止法で、それまでの臭いの測定は分析機器を使う方法だけであったのが、嗅覚測定法がくわえられて創設された資格です。

臭気というとすぐに畜産農業、下水処理場の臭気と考えますが、

最近では都市生活、民生型に対象が変化しているようです。その一端が焼き鳥裁判に表れています。
小松さんはこれまで度々テレビやラジオの番組に出ておられ、雑誌や新聞への寄稿も数多くあり大活躍中です。
(黒川亮記)



能楽会「瀟灑会」「菱水会」について

十月二十八日(日)東京澁谷の観世能楽堂で催された能楽会「瀟灑会」で私は「半部(はじとみ)」でワキとして出演しました。

「瀟灑会」は三菱能楽同好会「菱水会」の主席指導の藤波重満先生が主催されていて、三菱樹脂からはOBの橋田理さんと木沢英雄さん、他に多数の現役の方も参加されています。

「菱水会」は三菱十六社の能楽同好会です。毎年二回の大会を続けてきて、この秋で百六回を迎える伝統のある会です。
会員数は約四百名で、私は副会

長を務めておりますが、三菱各社の現役、OBならばどなたでも入会できます。樹脂の現役十二人もがんばっています。

昨年五月に能楽は世界無形遺産に指定され、日本の伝統文化が国際的に認められました。この機会に奮って入会してください。

(鳥居正義記)



瑞牆(みずがき)山トレッキング

十月二十七日、昔の山仲間を誘って日本百名山の一つで「秩父多摩甲斐国立公園」にある瑞牆(みずがき)山に登りました。

高さは二二三〇米とあまりありませんが、山頂が岩で覆われたちよつと変わった山容です。

前日は麓の瑞牆山荘で宿泊。山荘はアルコール持ち込みOKで、早速四十数年前の学生時代に戻って、お互い渾名で呼び合う楽しい一夜となりました。

翌朝は、全員まだアルコール分

が残っている身体にむち打ってスタート。

残念ながら、小雨となり風も強まり、たどり着いた山頂もガスの中。視界ゼロでガスの合間で撮ったのが山頂での写真。

風雨ますます強まり温度も下がり、往年の山男達も這々の体で下山し、麓に最近出来たラジウム温泉で身体をあたため、帰路へつきました。

(原田浩次記)



世田谷区民絵画展に入選

世田谷区民絵画展が十月十七日から二十一日まで世田谷美術館区民ギャラリーで開催され、平松久さんと加藤進さんが昨年に引き続き入選されました。

この絵画展には、アマチュアの応募作品五百十三点から二百八十七点が選ばれ展示されました。加藤さんの作品は縫いぐるみをモチーフにした水彩画「静物」、平松さんの作品は油絵「ざくら」です。

(黒川亮記)

OB会事務局から

▽会員の状況

全会員数五〇六名本部二七四名
関西一七五名 近畿二七名
九州三十名(平成十三年十一月三十日現在)

▽訃報

大西与四彦会員 平成十三年六月二十三日逝去
大倉敏司会員 平成十三年八月十九日逝去
河野俊男会員 平成十三年九月十二日逝去

慎んでお悔やみ申し上げます。

▽関西支部長交替

OB会設立当初以来十年余にわたり支部長をお勤めいただいた



た岡山尚志氏に代わり、柴田弥蔵氏に新支部長にご就任いただくことになりました。

▽第二回OB会作品展

多数のご来場をお待ちしています。
会期 平成十四年二月十九日(火)～二十四日(日)

会場 神奈川県民ホールギャラリー
根岸線関内または石川町から徒歩
出品ご希望の方、その他作品展に関するお問い合わせは左記までお願いします。

平松 久

TEL:03-3700-1944
FAX:03-3708-6868

カットは平松久さんの「プラハ城への道」一碧会展出展(油絵)



編集後記: 投稿をお願いします。仕事、旅行、趣味、スポーツ、ボランティア活動、ライフワークなどの話を寄稿してください。

OB会ホームページにはこの会報に掲載している内容をより詳しく、またここに掲載している以外の記事も掲載しています。

OB会ホームページのアドレス

<http://www.mrc.mpi-mrc.co.jp/obkai/>

編集委員

市村義雄

加藤進

黒川亮

原田浩次

森川栄寿

吉井靖

TEL/FAX:0463-55-7235

TEL/FAX:03-3709-3610

TEL/FAX:047-447-2881

TEL 045-621-3355

TEL/FAX:0749-63-5307

TEL/FAX:045-811-9390

e-mail ssmkato@oregano.ocn.ne.jp

e-mail heichuan@m19.alpha-net.ne.jp

e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp

e-mail e-morika@gaea.ocn.ne.jp

e-mail yoshihiya@skyblue.ocn.ne.jp

発行者: 三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016

東京都台東区台東4-19-9

山口ビル7-2F

(株)ダイヤサービス東京支店内

担当

原島尚参

TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837